

# 課題解決の新戦力

たとえば“品質判断基準を定量化する”という課題。

自動車や建設機械など様々な分野の生産現場で活躍するアーク溶接ロボット。

同じ箇所を同じ条件で溶接しても、取り巻く環境に微妙な変化があるため

同じ溶接品質を確保するには、後工程で目視検査が必要となります。

ダイヘンの『ロボット溶接品質管理システム』は、溶接中のデータを毎秒1万回計測し保存。

良品の溶接データと比較することで、リアルタイムに溶接の良否を判定します。

また、保存した溶接データから過去の状態確認も可能。

溶接プロセスの『見える化』実現により、判断基準が定量化され、

常に一定の品質検査を行うことが可能となります。

